

昭和の町 駄菓子屋の夢博物館

昭和ロマン蔵の「駄菓子屋の夢博物館」では駄菓子屋にある商品を思い起こさせるノスタルジックなおもちゃコレクションを展示しています。駄菓子屋とは明治時代(1868-1912)に起源をもつ、安価なお菓子やおもちゃを販売する店のことです。駄菓子屋にはコイン投入式のアーケードゲームやガシャポン(カプセルトイ販売機)も設置してあります。日本全国でコンビニエンスストアが徐々に店出されていくにつれ、駄菓子屋はゆっくりと数を減らしました。現在では田舎において、ほんのわずかな駄菓子屋が見られるだけです。

この博物館には国内有数の駄菓子屋おもちゃコレクターである小宮裕宣氏が収集したおよそ 60,000 点という膨大な品々が保管されています。小宮氏はこの博物館の館長でもあり、戦前から 1980 年代後半にかけての駄菓子屋アイテムを 300,000 点も所有しています。これらの中にはポップカルチャーのアイコンをかたどった置物、古いレコード、雑誌なども含まれます。こういった多くの品々を通じて、来館者は世界的な人気を博している J ポップ文化の礎を知ることができます。2 階では、レトロな映画ポスターを見られます。

通常 3 か月間開催される駄菓子企画展では、昭和時代(1945-1989)の日本文化における象徴的なキャラクターやテーマにスポットライトを当てます。ギフトショップは来館者が伝統的な駄菓子屋で買い物をしているような雰囲気味わえるようにデザインされています。